

年頭挨拶

さんえすクラブ会長 (株)浜食 中村 秀一郎



さんえすクラブ会員会社の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は千年に一度とも言われる未曾有の大震災に見舞われ、さらには台風による土砂災害など大惨事と言える被害が相次いだ一年でありました。

また、世界で唯一原爆による放射能の恐ろしさを体験した日本人が、自らのシステム崩壊により更なる甚大な被害に巻き込まれる事となり、大変複雑な思いで心が痛みます。

近年、食品業界で問題になっていた食の安心・安全が、この様な形で突如脅かされるとは思いもよりませんでした。会員会社の皆様におかれましても何らかの影響が及んでいるものとお察し致します。

このような厳しい状況で新年を迎えた訳ですが、誰もが新しい年が昨年よりも良くなる事を願い期待し、今年最初の東京市場では高値スタートで始まり、築地でのマグロの初競りにおいても史上最高値を更新したとのニュースで幕を開けました。

さんえすクラブと致しましても25周年の節目の年でもありますし、韓国のバルン生協様との交流を深める年になるのではないかと期待しております。

本年が昨年以上の良い年を迎えられます様、会員会社同士の絆を大切に、デフレに負けない様それぞれが培ってきた技術やノウハウを融合して、新しい消費財の開発や新しい活動ができます事を心から期待しております。

最後に、さんえすクラブ会員会社の皆様、そして日本国にとって本年が新たな繁栄への第一歩を踏み出す年となる事を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。 平成24年1月7日

第25回さんえすクラブ定期総会を開催しました

平成23年9月29日(金) オルタナティブ生活館にて、第25回さんえすクラブ定期総会が開催されました。さんえすクラブ全会員27社中19社24名の参加により、(株)エコ・グリーンの入間川さんを議長に下記議案を議事審議し、皆様よりご理解を頂き、採決する事が出来ました。

第1号議案 2010年度 事業活動報告

第2号議案 2010年度 会計報告 監査報告

第3号議案 2011年度 事業計画

第4号議案 第5号議案 新役員選出

また当日は総会開催前に、「さんえすまつり」実施概要の説明会が開催されました。そして、交流企画部会リーダーの川口さんから会員の方々へ、実施概要の説明と全員参加の要請が力強く行われました。



- | | | |
|------|---------------------------|---------------------------------|
| ■役員 | 会長 中村秀一郎 (株)浜食 | 副会長 山崎貞雄 (株)ニッコー |
| | 事務局長 小林利明 共生食品(株) | |
| | 常任幹事 今井正樹 (株)豆彦 | 常任監査役 望月裕祐 英君酒造(株) |
| ■事務局 | 小林利明 共生食品(株) | 佐藤丙午 (有)ライフ・アート 大貫正人 (株)エコ・グリーン |
| | 交流企画部会リーダー 川口 圭 (有)カワグチ企画 | 情報部会リーダー 山田恵介 (株)佐藤印刷所 |
| | 宮下正一 (株)カジノヤ | 山崎雅文 (株)ニッコー |

第25回定期総会において承認された活動計画を、上記の役員及び事務局体制をもって遂行します。

2011年12月7日(水)

念願の

さんえすまつりが開催

さんえすクラブ「大規模交流会」開催の実現

「提案するさんえすクラブ」を目指して交流企画部会と情報部会が発足して以来、「さんえすクラブ交流会」の開催は主要なテーマでした。その中でも、さんえすクラブ全会員参加による「大規模交流会」開催の企画は重要な課題であり、さんえすクラブ交流企画部会が中心となり、さんえすクラブ総会、研修会、事務局会議、役員会、生活クラブとの定期協議会など、様々な場で3年以上に亘り討議されて来ました。



そしてついに、「さんえすクラブ交流会」開催の為、大プレゼン大会「さんえすまつり」として開催することが出来ました。当日は、さんえすクラブ会員17社30名と生活クラブ・福祉クラブ組合員70名が参加して、盛大なものとなりました。



さんえすまつりに参加して 生活クラブ生協 副理事長 一政伸子



「熱意がたくさんもっている会でした」とさんえすまつりに参加した組合員がフィードバックシートに書いてくれていました。「組合員ともっと会いたい、交流したい」その一心で、どんなまつりがいいのかをこの2年間、一生懸命に探ってきましたよね。思いが伝わりましたね。「多数の生産者の話が聞けて、交流会を開催するにあたり参考になりました」「来年、交流会にぜひ呼びたいところもみわかりました」というのもまた嬉しい声。このさんえすまつりを交流会のプレゼン企画と位置づけ、実際に交流会を開催してもらうことにつながるといふ目的もしっかり果たせたことがわかります。暮らしや将来への不安の影響もあり、消費材を買い控える傾向が強まっています。消費材の価値と、購入することがどんな意味を持つのかを理解することが、消費材の利用を高め、食の問題解決につながります。交流会では組合員に大いに語ってください！これからも共に頑張りましょう！

さんえすまつりに参加して 福祉クラブ生協 理事 大場英美



12月7日の「さんえすまつり」は、一言で言いますと大盛況！でした。大ぜいの組合員リーダーの参加があり、戸別ブースにわかれての交流や試食会では、生産者の皆さんに直接説明を聞き、質問をすることができて楽しいひとときでした。最初に行われたグループごとにわかれての生産者による10分間のプレゼンはあっという間でしたね！

今回の「さんえすまつり」に向けては、たくさん時間をかけて開催までに至ったと聞いております。参加させていただいてとても良かったです。今後の福祉クラブ生協の活動に活かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

福祉クラブ生協は、共同購入を基盤に地域にさまざまな福祉サービスを拡げて、街づくりを行ってきました。「共同購入の力」は住み慣れた地域で暮らし続ける仕組みづくりを支え、生産者と組合員は「食＝消費材」でつながっています。直接生産者と交流する機会をもつことで安心や信頼関係が生まれますので、今年はさんえすクラブとの連携した活動ができることを期待しています。

Aグループ3社 レポート (株)オリマツ 瀬山幸彦

共生食品 和光農園 オリマツがプレゼンしました。

私自身も食べる事が大好きなので、食に精通されている生産者のお話は魅力的でした。組合員の皆さんに、弊社が取組むゴミ問題や容器・包装品の材質について、興味を持って頂いたことはとてもありがたかったです。次回開催の際には是非ともまた参加させて頂きたいです。



されました！

開催チャート

- 10:30 ~ 集合・全体会
- 11:00 ~ A~Eの5グループに分かれ生産者による10分間のプレゼン実施
- 11:50 ~ 個別ブースに分かれての交流・試食会
- 12:30 ~ 13:00 個別相談会

Bグループ3社

レポート (株) エコ・グリーン 大貫正人

浜食

- 添加物の話
- 漬物を使ったいろいろな料理の話
- 簡単な質疑応答

オルタフーズ

- 設立の経緯
- 美味しい食べ方や保存方法
- 工場見学も出来る。

エコ・グリーン

交流会では化粧品の使い方やコツを説明します。交流会当日の準備など要望を伝えた。デポではフロアアピールもします。



Cグループ4社

レポート (株) しむら 塩田由衣子



各会場に分かれてのプレゼンは、開始前の**泰山食品**の「こんなプレゼンなんてやったことないんです」という不安な声に代表されるように、皆が緊張していたように思います。それでもいざ始めると、組合員の方々から質問が上がったり、笑いが起こったり、次第に和やかな雰囲気になりました。

佐藤印刷所や**カジノヤ**は、後半に話が盛り上がり、「えっ？もうあと3分？」と、これまた笑いを誘っていました。これを機に、多くの場所で様々な生産者とのさんえす交流会の企画を組合員の皆様に要望してもらえたらいいなあ、と思います。

Dグループ4社

レポート (株) ウェルライフ 石川京子

秋川牧園は、“はりま”と市場に出回っている鶏の違い、飼育へのこだわり（開放型の鶏舎、えさの飼料米など）を組合員に伝えていきたい点と、鶏の解体体験なども企画できることをアピールしました。

ウェルライフは、その設立経緯や、WCo あんずが実質的にあんず薬局や共同購入の健康食品の供給などの事業を運営しているということで、組合員から「へえー」という声が漏れました。

カワグチ企画は、「何の生産者？」とピンとこない組合員が多いかと思われましたが、今日参加された方はほとんどご存知でした。さすがに生活クラブの組合員の皆さんはチラシを隅々まで目を通していらっしゃるんですね。伝統工芸や地場産業を中心に、皆さんに伝え、残していきたいという熱い思いを語っていました。

東和農産は、農産物の流通の仲卸をしている会社で、農産物生産者と組合員の橋渡しをしています。この季節は、れんこんやごぼう掘りの体験学習も企画出来るピーアール。また、3月の原発事故で、福島、茨城の農産物に値がつかないという現状に、放射能事故の重大さを改めて認識しました。



Eグループ3社

レポート (株) ニッコー 山崎雅文

豆彦、ライフ・アートとプレゼンしました。事前の準備や段取りにより当日は本当に盛況に終わったと思います。当日プレゼンの資料をもう少し用意しておけばよかったかなとも思いましたが、その後の試食交流会で色々話すことも出来、時間が足らなくなるくらいでしたのでやはり直接お話しすることの重要性をあらためて感じた次第です。

また後に当日参加の理事さんより、「本当に楽しかった、こんな企画もさんえすクラブはしているんですね」という連絡も頂き、今回の企画を実現出来たことに嬉しく思いました。今回を機会に今後もさらに進展した企画が出来ればと思います。



参加して頂いた組合員の方より

- たくさんのブースを一同に見ることができて大変よかったと思います。生産者によってはいろいろ工夫されて体験することができ、試食試飲ができたのがわかりやすかった。交流会を主催するためにも参考になりました。
- ほとんどが日頃食べ、使用している消費材ですが、あらためて生産者の方の話を伺うと知らない知識が増えとても有意義でした。もっと学習して組合員で共有したいのでぜひ来ていただきたいと思いました。

さんえすまつりが開催されました！

楽しかった「さんえすまつり」 交流企画部会リーダー (有)カワグチ企画 川口 圭



2011年12月7日を迎えるまでに使われた時間は…、相当なる膨大な時間が使われています。行なわれた会議は数知れず、報告などもいろいろな場面で行なったので、皆さまにも「またか」と思われていたはずで。

そんなこんなで迎えた12月7日。

細かな反省や今後に向けた取り組みなどは、これから研修会などで詳細を報告したいと思っておりますが、残念だったのは全会員参加を基本としていたのですが、27社中17社だったことです。今後の大きな課題のひとつではありますが。ただこういった交流会は初めてであったであろう、「佐藤印刷所・オリマツ」様が参加していただいたことはいろいろな意味で大きな収穫でした。両社ともに「どうして良いのか分からない…」と言われておりましたが、蓋を開けてみたら組合員からの評判も良く、組合員にとっても会員にとっても今後の活動のヒントになったのではないかと考えています。

これからはこの「良かった!!!」という声を今回参加していただけなかった会員にも届け、参加しなかったことを後悔してしまうようなイベントを企画し、次回は全会員参加を目指します。

この活動は、皆様の会社・団体にとって有益な活動であると同時に、供給(売上)アップに必ずや繋がってくると思います!!!

今回は交流会開催増加が最大の目標でしたので、開催の依頼がたくさんくることを心待ちにしたいと思います。

情報部会報告は、さんえすまつり個別ブースの情報部会員によるレポートをもって代えさせていただきます。

交流企画部会報告

交流企画部会 川口 圭 (有)カワグチ企画

さんえすまつりが無事終了し、これからは何をしようかと思案中ですが、皆が同じ方向に進んでいけるようこれから舵取りをしていきたいと思っています。そのためにどうすれば良いか…。それはコミュニケーションではないかと、思っています。昨今、繋がりが重要視される中この生産者同士の繋がり、組合員との繋がりは一般市場ではありません！ということで、まずは参加して皆で語り合ひましょう。

●韓国バルン生協との交流会 (株)ニッコー 山崎雅文



今回のバルン生協との交流は私個人としても国内以外では初めてのことで、色々と学ぶべき事や初めて経験することが多くある有意義な時間でした。当然の事ながら言葉の壁があり、常に集中。いろいろな交流がありますが、ある意味気の抜くことがない雰囲気の中で行われる交流でした。質問もさせて頂きましたが、現地バルン生協地域で取り巻く環境や、組合員層、拡大方法など新しい発見も多く、目的は一緒でもやり方は様々だと感じさせられる一面でした。食事の場では直接生産者とも交流することが出来、考えてること、行っていること、悩んでいること等々、色々とお話することが出来ました。とても印象的な交流であり、勉強させて頂きました。ありがとうございます。



●生活クラブ創立40周年・デポー 30周年

平成23年11月24日、生活クラブ創立40周年・デポー 30周年の記念講演会とレセプションが行われました。盛大で晴れがましいこの式典へ、さんえすクラブからも記念講演会に6名、レセプションに10名の会員が参加して、皆様とともに慶びをわかちあいました。



◇ 2011年12月末現在 ◇

1. 生活クラブ組合員人数報告 (12月末)

班・戸配	48,425人
デポー	20,294人
計	68,719人

2. 生活クラブ供給報告 (4～12月累計)

班・戸配	127億1,767万円(供給高)
デポー	33億3,172万円(供給高)
計	160億4,939万円(供給高)
世帯当たり利用金額	
班・戸配	29,142円

デポー 18,189円

3. 福祉クラブ報告

組合員人数	15,683人 (12月末)
供給高 (4～12月累計)	19億5,459万円 (前年比 101.9%)
一人当たり利用金額	13,911円